

横浜市精連・シンポジウム

どうする！ 精神障害者にも対応した 地域包括ケアシステム

現在、横浜市では、地域生活支援拠点のモデル事業を実施するとともに、2020年度の全区展開に向け、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築の検討が行われています。その目的は、長期入院者の地域移行や、親亡き後の居住支援を柱とした地域生活支援体制の基盤整備にあります。このシンポでは、中核的な役割を担う生活支援センターの基本機能をどのように整理し、地域ケアネットワークの中でどのような役割を担うことが、当事者や家族の安心につながるのかを、考えます。また、現在、よこはま第四期障害者プランの策定作業中であり、このシンポを通じて、当事者や家族の声が反映され、希望が持てる提言が出来たらと企画しました。是非、ご参加ください。

日時 **12月8日**（日） 受付 12:30 / 13:00 開会

場所 横浜市健康福祉総合センター4階 ホール

料金 会員・家族・当事者 300円 非会員 500円

13:00 開 会 横浜市精連代表挨拶

13:10 基調講演 障害者権利条約と我が国の精神障害者施策の近未来（仮）

講 師 藤井 克徳 認定NPO法人日本障害者協議会代表

14:20 シンポジウム どうする！精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム

司 会 石川 到覚 大正大学名誉教授

演 者 佐藤 光展 医療ジャーナリスト

○ 何故進まない、精神医療改革とこれから（仮）

望月 明広 横浜市総合保健医療センター生活訓練係長

○ 生活支援センターに期待される役割とは

榎本 良平 横浜市健康福祉局障害福祉部精神保健福祉担当課長

○ 横浜市における精神障害者地域ケアシステムの方向

助 言 者 藤井 克徳 日本障害者協議会代表

指定発言 大羽 更明 横浜市保土ヶ谷区家族会（たちばな会）会長

野間慎太郎 横浜ピアスタッフ協会 副会長

16:45 閉会

主 催 NPO法人横浜市精神障害者地域生活支援連合会

後 援 横浜市健康福祉局 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会・障害者支援センター、横浜市生活支援センター連絡会 NPO横浜市精神障害者家族会連合会 横浜ピアスタッフ協会
(以上、全て折衝中))

講演・シンポジウムのメンバー紹介

藤井 克典 氏

1949年生まれ、福井県出身。東京都立小平養護学校在職中から障害者作業所運動に参加、きょうされん創立に参画。現在、認定NPO法人日本障害者協議会代表。著書多数。

佐藤 光展 氏

1967年、群馬県出身、立命館大学卒業、神戸新聞社社会部では阪神淡路大震災、酒鬼薔薇事件等を取材。その後、読売新聞東京本社に移籍、精神医療関係の取材に定評、医療ジャーナリスト。

望月 明弘 氏

横浜市総合保健医療センター生活訓練係長

榎本 良平 氏

1972年生まれ。神奈川県出身、横浜市健康福祉局障害福祉部精神保健福祉担当課長。

大羽 更明 氏

横浜市保土ヶ谷区家族会・たちばな会会長、NPO横浜市精神障害者家族連合会副理事長 横浜市障害者施策検討部会に参加。家族の立場から支援の制度や内容について発信している。

野間 慎太郎 氏

横浜ピアスタッフ協会 副会長



〒231-8482 横浜市中区桜木町 1-1 横浜市健康福祉総合センター
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
JR 京浜東北・根岸線 横浜市営地下鉄(ブルーライン) 桜木町駅下車

申し込み先 FAX 045-263-8101

所 属		
氏 名		
TEL		会員 ・ 非会員

申込期限 12月2日(月)まで 定員になり次第、締め切ります。

問合わせ先 横浜市精連 TEL:045 - 263 - 8100